

## 則松校区ふれあいネットワーク調整会議：在宅医療についてアンケート結果

参加者数：50名

回答者数：40名

回答率：80%

## 1. あなたの年代は

①50代 (2名)      ②60代 (20名)      ③70代 (17名)      ④80代 (0名)      ⑤90代 (0名)      ⑥その他 (1名)

## 2. 在宅医療を知っていましたか。

①知っていた (26名)      ②知らなかった (14名)

## 3. 在宅医療を知っていたと答えた方。どのようにして知りましたか。

テレビで知った 5  
講演会 4  
各種報道で知った 3  
家族等を介護していた 5

## 4. 在宅医療について関心を持ちましたか。

①はい (40名)      ②いいえ (0名)      未回答 (0名)

## 5. どのようなことが印象に残りましたか。

- ・ 人生会議は、医学の知識がないと具体的に話し合うのは難しいと思った。(地域の見守りで)個人に話しかけた時に、プライバシーの問題で入りづらいと感じることがある。(60代)
- ・ 若い世代の人口が減るということは、自分たちの時に支えてくれる人が少ないという事、しっかりと先のことについて考えなくてはと思った。(60代)
- ・ みんなで支えあうことが大事だと思った。(50代)
- ・ 自分のことを振り返り、いろいろと考えさせられた。(70代)
- ・ 出来るなら在宅医療を受けたい。そのために事前に家族と話し合うようにする。(70代)
- ・ 在宅医療が広まれば、高齢社会にとっては有難いことだと思う。その反面、看護師の不足・働き方改革などが実際どうなるかが気になる。本人の希望・介護する側、お互いの思いが繋がる在宅医療になってほしい。(60代)
- ・ 地域に塩田先生がおられるので安心です。(70代)
- ・ 介護する側・される側の年齢や、病状などで(在宅療養が出来るかどうかは)左右されると思う。私には自信がないが、普及されてほしいと思う。在宅医療の内容を知って勉強になった。(70代)
- ・ 地域で最期を迎えられたら最高だと思った。在宅医療受けたい。家族との話し合いが必要ですね。(60代)
- ・ 北九州の高齢化率の高さや、医療費の問題を考えたときに、在宅医療や終末期について、もっと皆で財源確保も含めて考えていかなければならないと思った。(50代)
- ・ 在宅医療のシステムは素晴らしいが、やはり家族への介護の負担が気になってしまう。(70代)
- ・ 私も自宅で最期を迎えたいと思っていた。在宅医療が受けられればいいと思う。(60代)
- ・ まだまだ先の話だと思っていたが、今日を機会に、少しずつ考えようと思った。(60代)
- ・ おせっかい地域構想はなかなかいいと思った。(60代)
- ・ 少しずつ地域に目を向けていこうと思った。(60代)
- ・ 医療の現実が良く理解できた。(70代)
- ・ 医療の現実、高齢者の増加の厳しさが印象に残った。在宅の多職種チームが、実際にどのくらいあってどこにいるのかを、もっと広めてほしいと思った。(70代)
- ・ 塩田先生・松本さんのお話は、とても興味深かった。ありがとう。(60代)
- ・ 訪問診療をしてくれる医師が増えることを期待しています。(60代)
- ・ 在宅医療やおせっかい地域構想が、多くの人に関心をもってもらうようになってほしい。(70代)
- ・ 自分が病気になったら、どのような治療をするのか、どこまでの治療をするのか、家族で元気なうちに話し合っておくことが必要だと思った。(40代)
- ・ 相談窓口について知ることが出来て良かった。ボランティアの輪を広げていくのは良いと思う。(60代)

- ・医療の変化に驚いた。(60代)
- ・在宅医療も進化して、今は色々な選択肢があるのだと思った。(60代)
- ・おせっかい地域構想は、とても良い言葉だと思った。今は核家族が多く、家族の死を体験することがほぼ無いので、地域で見守り、それを支えてくれる医療介護従事者がいてくれることは、とても心強いと思った。(60代)

6. 今後、あなたは在宅医療を受けようと思いますか。

- |        |       |       |                             |
|--------|-------|-------|-----------------------------|
| ①はい    | ②いいえ  | 未回答 ➡ | ・家族と話し合っ<br>て考えます。          |
| ( 26名) | ( 7名) | ( 7名) | ・どうしても家族<br>への負担が気にか<br>かる。 |